

戦 評

大会名	第32回山梨県ママさんバレーボールいそじ大会 兼 関東・全国大会予選会		
会場	双葉体育館		
日時	2021年8月1日(日)	主審：吉田 仁美	
試合開始時間	時 分	副審：村松 久江	
試合終了時間	時 分	記録：中村 薫	
決勝戦	Aブロック親善		Bパート
対戦成績	勝ちチーム名	負けチーム名	
	とみざわ	t atoみん	
	(2 16-21 21-18 22-20)	1	
<p>戦評：昨年は新型コロナウイルス感染拡大によって中止となったいそじ大会は2年ぶりの開催となった。当初は6月に開催予定としていたが、コロナ感染拡大のため8月に日程変更。Aブロック親善試合には31チームが参加、A・B・C・Dパートに分かれて試合が行われた。Bパートの決勝戦は第30回大会でパート優勝のとみざわと初のパート優勝を目指したtatoみんの試合となった。とみざわ、tatoみんともに1回戦は2-0で勝利、8月の開催となり猛暑の中、暑さ対策を行いながら両チームともに決勝戦に臨んだ。1セットはtatoみん牛田英美のサーブが牙えとみざわのレシーブを崩し連続得点をあげる。とみざわはキャプテン、セッター望月千里が選手を鼓舞し盛り上げるが、tatoみんはバックセンター佐野純子を中心とした手堅い守備でレフトエース橘田美香にボールを繋げ16-21で先取する。反撃したいとみざわはレシーバー陣が粘り強く拾い、若林幸恵、佐野恵津子の攻撃でtatoみんの流れをストップさせ2セットはとみざわが21-18と競り勝ち、1-1となる。第3セットは両チームともに譲らず、1点を取り合う展開となる。tatoみんは橘田美香の攻撃に加え、大場麻偉子のセミ攻撃で得点を重ねる。流れはtatoみに傾いたと思われたが、とみざわの最後まで諦めない気持ちのこもったプレーでボールを繋ぎ同点となる。流れを引き戻したいtatoみんだったが、最後はとみざわの追い上げで22-20としゲームセット。とみざわがAブロック親善Bパートの優勝を決めた。</p>			

記載者 吉田仁美